

平成 21 年度第 1 回東京都生活習慣病検診管理指導協議会（研修部会）

【開催日時】 平成 21 年 6 月 26 日（金曜日） 午後 3 時から午後 5 時まで

【出席】 藤井部会長、大橋委員、楠委員、小中委員、山村委員

【欠席】 石井委員

【事務局】 矢内健康推進課長、新岡成人保健係長、上野課務担当係長、成人保健係 1 名

報告 1 がん検診の受診率の動向（資料 1）

報告 2 平成 19 年度がん検診精度評価（資料 2）

東京都では、5 がんとも受診率は上がっている。大腸がんについては全国受診率との差が小さくなっているが、他のがんについてはまだ全国値とかなり大きな差が見られる状況。東京都の場合、未把握・未受診率が非常に高いとい。未受診・未把握率が高いことで、陽性反応適中度も東京都は全国に比べ低くなっているものと思われる。

委員：未把握・未受診が低いと現場でも思っているが、どのような方策でこれを高めようと考えているのか。

事務局：「がん検診の精度管理のための技術的指針」の中で、検診者全員に要精検と判断された場合の受診の必要性について説明するよう示している。また、都民に対しては、昨年度開設したがん検診支援サイトやリーフレット等で、必ず精密検診を受診するよう周知をしている。

委員：未把握・未受診率が平成 15 年ごろから高くなっている傾向にあるように見えるが、これは統計のとり方が変わったのか。

事務局：統計のとり方は変わっていない。

報告 3 平成 20 年度生活習慣病検診従事者講習会報告（資料 3～4）

委員：ベセスダシステムなどの新しいものは、定着するまでは毎年テーマに入れても構わないと思う。

報告 4 東京都がん検診の精度管理のための技術的指針について（参考資料 4）

委員：今後も改訂していくのか。

事務局：年度ごとの改訂は予定していない。国のチェックリストや指針等を参考にしているので、大きく変わった場合には検討する。

議題 1 平成 21 年度細胞診従事者講習会テーマ（案）について（資料 5～6）

委員：今までは、同じ日に様々なテーマを入れていたが、今年は試みで、乳腺の科目を同じ日に入れて様子を見てはどうか。

委員：テーマと講師を決めたので、あとは各先生方と実際に交渉して、正式なカリキュラムを決めていく。